

手を握りながら親子



令和4年10月発行 登別市教育委員会・学校教育グループ「子育てコラム」 No. 14



気分転換に、図書室&図書館へ



📖 学校図書室にいる人。

学校司書の存在を知っていますか？小学校や中学校の図書室には、本の貸出や返却作業、本の修理、選書、読書活動など、図書業務を行う専門家があります。現在、登別市内の小中学校には5名の学校司書が配置されています。

👥 小さな図書室に、たくさん人が関わっています。

街の図書館と比べ、利用者は学校の子どもたちと先生だけの小さな規模です。そんな小さな図書室を支えるのは、司書だけではありません。図書委員会やお掃除係の子どもたち、学校の先生や室内の破損を修理してくれる公務補さん、保護者によるPTAやボランティアさん、そして、市立図書館の職員さんや巡回図書の職員さんなど、たくさんの人の手によって、子どもたちにとって居心地のいい環境が作られています。

📖 学習する場所以外の、もう一つの場所。

図書室は本を借りて読書をし、調べ学習をするだけでなく、子どもたちの気持ちを落ち着かせる場所でもあります。一人になりたいと思ったとき、静かな場所に居たいときの、気分転換の場所としても活用できます。読書をしたり、おりがみや絵を描いたり、好きなことができます。

司書は子どもの様子を静かに見守ることもあれば、ときに話し相手にもなります。先生のように指導する立場ではありませんが、子どもと対等に向き合い、お話を聞き、

背中を押してあげる役割があります。図書室は居場所のない子どもたちにとっての、セーフティゾーンです。気持ちを落ち着かせたいとき、気軽に図書室へ来て下さい。



📖 図書館で気分転換を。📖

忙しい生活のなかでは、気分転換に本を読み、図書館へ向かうゆとりはないでしょう。読みたい本も書店で買う、電子書籍なら家で読むことができます。しかし、あえて本を読むという目的だけでなく、図書館という空間を楽しんでみてください。図書館に来館した人にとっての「自分だけの時間」に浸れる場所でもあります。

興味のある分野の本、日常の中で知りたい情報、すべてが備わった空間です。ただ、何も考えず目の前にある小説や絵本、漫画、最新号の雑誌を手に取り、普段とは違う時間を過ごしてみてください。何も読まず、静かな場所でぼーっとするだけでも良いです。数分間でも気分転換になります。

図書館には、小さなお子さんのためのキッズスペースや、授乳室もあります。子どもと一緒に、図書館で過ごすこともお勧めします。乳幼児から絵本に触れること、幼児期にたくさん読み聞かせしてあげること、とても大切なことです。子どもは親の声を通して、言葉を学ぶことにより、創造性が育まれます。何より、親子のコミュニケーションにも繋がります。子どもが成長し、一人で本を読むようになったら、家族で読み終えた本を交換し合っても楽しいですね。

忙しいときこそ、図書館で過ごしてみたいはいかがでしょうか？

